

よくあるご質問

Q どうしてもお休みしてしまう日程があるのですが、参加可能ですか？

A 可能です。原則的には、すべての日程にご参加いただくことをお勧めしていますが、最低限、下記の「修了要件」を満たせば修了認定を受けられます。

Q 具体的に、どんな方が参加するのですか？

A これまでまったく地域での活動をしてこなかったが、定年退職を機に少しずつ関わっていきたい方、普段は仕事をしているが空いている時間を使って地域で活動してみたい方、すでに地域活動や町会・自治会等に関わっているがさらに視野を広げたい方、様々な方が受講されています。年代も20代～80代と幅広いです。

カリキュラムをご覧ください、少しでも興味を持たれた方は、どなたでも大歓迎です！自分についていけるか、他の参加者となじめるかといったお悩みにも、事務局がサポートさせていただきますので、安心してご参加ください。

Q この塾を修了するとどうなるのですか？

A 本塾を修了した先輩方は、自分にあった団体を見つけて手伝うところから始めたり、暮らす地域の町会・自治会の活動に参加したり、自分で新たな団体を立ち上げたり、本塾で得た知見を活かして以前からやっていた活動をさらに広げたりと、それぞれの形で活躍されています。一緒に学ぶ同期の仲間や、OB・OGとのネットワークが作れるのも魅力です。また、修了後も随時、まつど市民活動サポートセンターに相談することができます。

修了要件

本塾修了時に下記の条件を満たす方を、本塾修了生として認定いたします。

1. 「講義」単元…………… 3回以上参加
2. 「ワークショップ」単元… 2回以上参加
3. 「実地体験」単元…………… 1カ所2日間以上参加
4. 「まとめ」単元…………… 1回以上参加

募集要項・応募方法

対象：地域で活動する意思のある市内在住、在勤、在学の18歳以上の方

定員：40名（申込者多数の場合書類選考）

受講料：5,000円（途中退塾された場合も、受講料の払い戻しはできません。）

受講期間：2019年7月4日（木）～2020年2月6日（木）

会場：新松戸市民活動支援コーナー（新松戸市民センター3階）、他

申込期間：5月16日（木）から6月15日（土）〔必着〕

必要書類：下記の①および②を、「まつど市民活動サポートセンター」まで郵送、メールまたは持参にて提出ください。

①申込書（今までの活動履歴も記載）

②レポート「まつど地域活躍塾で学び、実践したいこと」（800字以内）

※申込書は同センターおよび市民自治課（松戸市役所本館3階）窓口で配布する他、同センターホームページからダウンロードできます。

お申込み・お問合せ

まつど市民活動サポートセンター

住所：〒271-0094 松戸市上矢切 299-1 松戸市総合福祉会館 1階

TEL：047-365-5522

FAX：047-365-5636

メール：hai_saposen@matsudo-sc.com（メールタイトルに【活躍塾応募の件】と記入ください。）

第3期 まつど地域活躍塾 検索



主催：松戸市 企画・運営：まつど市民活動サポートセンター（指定管理者：NPO法人まつどNPO協議会）

まつど 地域活躍塾 2019

第3期生、募集。

2019
7/4木
START!

求む、 松戸の あしたを つくる人。

作ってもらおう人より
創ってゆく人の方が
絶対に楽しい。

主催 松戸市

「暮らしづくり」は「まちづくり」につながっていく。

松戸には49万を超える「人」が暮らしています。
 その一人ひとりに人生があって、
 たくさんの経験や特技があるはずで、
 一人の力で街の課題を解決したり、
 魅力あふれる街にするのは難しいけれど、
 それぞれの力を持ち寄れば、
 身の回りの暮らしをより良く変えていくことができる。
 暮らしをつくることは、街をつくることにつながっていく。
 だから 求む、松戸のあしたをつくる人。



本塾のポイント

1 各テーマで活躍する10名以上のゲストによる実践トーク

子どもの貧困、介護予防、地域のコミュニティづくり、コミュニティビジネスなど、幅広い分野について、具体的な事例を通して学んでいきます。

2 街の課題の構造や解決策を考えるワークショップ

地域で活動をするためには多様な人と対話を重ね、プランを立てて、協力者を増やしていく必要があります。そのためのポイントを身につけていきます。

3 市内の町会・自治会・NPO等の活動現場で実地体験

地域福祉、見守り活動、高齢者、障がい者、子ども、子育て、社会教育、環境保全、防災など約20か所のジャンルから興味のある活動先を選んで体験します。

昨年度受講生の声

これまで会社と家の往復の毎日でした。
 この塾のおかげで、松戸の広さ、特徴、
 課題が少し理解できました。
 (60代・男性)

これからやろう
 としていることについて
 仲間と共有して話せるという、
 素晴らしい機会だと
 思います！
 (50代・男性)

明るく楽しい講義で
 今後に向けての知識が増え、
 アンテナをはる事が出来ました。
 豊かな将来の為に。
 (70代・女性)

迷うより、
 まず動くことが
 大事だと思います。
 (40代・女性)



カリキュラム

【全体進行】まつど市民活動サポートセンター コーディネーター

単元	日時	テーマ	講師・ゲスト	会場
講義	① 7月4日(木) 13時30分～16時30分	オリエンテーション/ 松戸の成り立ちと地域活動の変遷	榎本 孝芳氏 (NPO法人クリエイティブまつど工房代表理事)	新松戸市民活動支援コーナー
講義	② 7月11日(木) 14時～16時30分	実はすぐそこにある、 子どもの貧困・子どもの孤立	高橋 亮氏 (まつど子ども食堂の会代表) 平野 将人氏 (まつど地域活躍塾2期修了生)	新松戸市民活動支援コーナー
ワークショップ	③ 7月25日(木) 14時～16時30分	子どもたちを街で育てる、支える仕組みを考える		新松戸市民活動支援コーナー
講義	④ 8月1日(木) 14時～16時30分	市民活動・NPOの価値をつなぐ コーディネーターの役割	阿部 剛氏 (まつど市民活動サポートセンターセンター長)	まつど市民活動サポートセンター
講義	⑤ 8月22日(木) 14時～16時30分	身近な“困った!”を解決する 事業型NPOとは?	佐久間 浩子氏 (認定NPO法人たすけあいの会ふれあいネットまつど理事長) 山田 美和氏 (NPO法人MamaCan理事長)	新松戸市民活動支援コーナー
ワークショップ	⑥ 8月29日(木) 14時～16時30分	自分×地域で見つける事業プランのつくり方		新松戸市民活動支援コーナー
講義	⑦ 9月12日(木) 14時～16時30分	進む高齢化、well-beingを実現する コミュニティの力	地域の居場所サロン等実践者 松戸市高齢者支援課 職員	新松戸市民活動支援コーナー
講義	⑧ 9月19日(木) 14時～16時30分	地域だからこそできる、 地縁のつながりの可能性	渋谷 寛之氏 (小金原地区会地区長) 小野 順子氏 (各種地域活動実践者) 松戸市市民自治課 職員	新松戸市民活動支援コーナー
ワークショップ	⑨ 9月26日(木) 14時～16時30分	地域の課題・アプローチの深掘りと検証 (1)		新松戸市民活動支援コーナー
実地体験	⑩ 10月6日(日) 13時30分～16時30分	実地体験オリエンテーションおよび受入れ団体とのマッチングの会		まつど市民活動サポートセンター
実地体験	10月中旬 ～12月中旬	実地体験 (推奨は2カ所・各2日間以上) ※各自実施		各実地体験場所
実地体験	⑪ 12月8日(日) 14時～16時30分	実地体験ふりかえり		新松戸市民活動支援コーナー
ワークショップ	⑫ 12月12日(木) 14時～16時30分	地域の課題・アプローチの深掘りと検証 (2)		新松戸市民活動支援コーナー
まとめ	⑬ 1月16日(木) 14時～16時30分	ふりかえりワークショップ/個別相談会		新松戸市民活動支援コーナー
まとめ	⑭ 2月6日(木) 14時～16時30分	修了式 (修了証書授与)		新松戸市民活動支援コーナー

実施会場

原則、新松戸市民活動支援コーナー(新松戸 3-27 新松戸市民センター 3階)で実施します。
 ただし④8/1、⑩10/6は、まつど市民活動サポートセンター(上矢切299-1 松戸市総合福祉会館1階)で実施します。

実地体験先の主な分野 (※昨年度の例)

地域福祉、地域の見守り活動、助け合い活動、高齢者、障がい者、子ども・子育て、
 社会教育、観光、環境保全、外国人、防災、自治会、中間支援・まちづくり
 実地体験先は主に上記の分野で活動している地域活動団体の中から、希望に応じて選択します。
 具体的な団体名は確定し次第、講義の際および市のホームページ上にてご案内いたします。

